

令和4年11月24日(木)、25日(金) 懇談会 校長挨拶

○保護者の皆様、本日はご多用のところ、懇談会にお越しくださりありがとうございます。本校校長の小野でございます。

○4月の第1回目の授業参観懇談会は、まだコロナの心配が大きかったということもあり、懇談会のみの実施、1学期末は授業参観のみを実施し、懇談会については、夏休み前半に行った個別面談を代替の場とする措置を取らせていただきました。

○今回は、通常通りの授業参観・懇談会を予定しておりましたが、本校における感染拡大傾向を鑑み、懇談会のみの実施に変更させていただきました。お子様の学校での様子をご覧になるのを楽しみにされていた皆様には、誠に申し訳ございませんでした。

○さて、2学期は開始早々の学年閉鎖にはじまり、これまで毎週、どこかの学級で陽性者の報告があるなど、感染が収束する気配は感じられませんでした。何らかの形で閉鎖の措置をとった学級が、のべ10学級にもなるなど、大変な状況でしたが、そんな中でも「体育発表会」「ドリーム集会」「6年生の修学旅行」や各学年の「校外学習」、5年生の「音楽会出場」や先日行われた「持久走大会」などの行事は、予定通り行うことができました。これは、感染拡大傾向にありながらも、さらなる学年閉鎖や休校にまでは至らなかったおかげであり、それは、保護者の皆様による、日々の健康観察や検温のご協力、そして、行事に備えて体調を整えること、などにご配慮いただいたおかげに他なりません。

改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

○11月の「学校だより」に「非認知能力」について、書かせていただきました。

もう一度触れさせていただくと、「非認知能力」とは、学力テストなどで数値化できる能力（認知能力）とは別の能力であり、具体的には、忍耐力（粘り強くやり抜く力）や自制心（感情をコントロールする力）、勤勉性（やるべきことをきちんとやる力）、そして、コミュニケーション能力（誰とでも社会的に接することができる力）など、があります。

- そして、これらの非認知能力は、学力の向上に大きく影響するのはもちろん、社会にでてからの成功にも大きく左右するなど、「人生を豊かにする」と言われています。
- 2 学期に行ってきたさまざまな学校行事の成功は、桜っ子の「非認知能力」を大きく向上させている、と私は感じています。保護者の皆様による、さまざまな行事へのご協力、本当にありがとうございました。
- 今後も、学校、家庭、地域が「三位一体」となって、子供たち一人一人に寄り添い、適切にサポートし、望ましく成長させていければと考えております。

- 残り 1 か月弱となった 2 学期、「充実と成長の学期」の締めくくりとなるよう、教職員一同、努めてまいりますので、今後とも、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

- それでは、この後の懇談会、よろしくお願いいたします。

(1200 字 4 分)